

たてごと(一)一三五

たてごと（合本）

第一巻

1号 ～ 25号

1947（昭22） 1949（昭24）

謹んでこの小著を

心きよらなる

紳士淑女へささげます

- 1912年（大正元年） 埼玉県に生まれる 本名 福次郎
1930年（昭5年） 啓示をうける
1933年（昭8） 神道家・関口才助・モトの養子となる
1947年（昭22） たてごと創刊（現在103号）
1975年（昭50） 川越市仙波長徳寺住職江田広典氏によって
同寺の境内に詩碑建立
1978年（昭53） たてごと合本第四巻出版（73号～93号）
1978年（昭53） // 第三巻出版（52号～72号）
1979年（昭54） // 第二巻出版（26号～51号）
1979年（昭54） // 第一巻出版（1号～25号）

たてごと（合本）第一巻

1979年（昭54）12月15日発行

著 者 関 口 大 雅

編集発行人 全

発行所 琴 鳴 社

350-02 埼玉県坂戸市浅羽1494

電話番号 0492-81-0986

振替口座番号・東京-5-47196 琴鳴社

七曜印刷出版・野田製本

（頒価 1,000 円 送料 160 円）

たてごと（合本）第一巻 目次

(1)号・発刊の辞	1
凱歌起るを見たり	5
不滅なる殿堂の建設者	7
(2)号・人間を待てるもの	9
ゆっくりおちつきなさい	11
詠草二首・安岡正篤	14
夢に見し婦 よんな	15
編集後記	16
(3)号・救世主 メシア のくに	17
明日の市民権 きんぐど	19
堅琴を弾く少年	22
編集後記	24
(4)号・生命は買いとったものであるか	25
新しい郵便屋さん	27
御はなむけ	30

編集後記

(5)号・人間にくるしみやつまずきがあるのは……

我家を詠みし歌 並びに反歌

さる嬢に贈れる歌 並びに反歌

祈り

ベツレヘムの星

編集後記

(6)号・苦勞は恐るべきものではない……

人生の考察

我が見しもの 我がききしもの (一)

清らかなあなたの魂の叫びに……栗原克丸

我が見しもの 我がききしもの (二)

わが生計(編集後記にかえて)

(7)号・今日までの戦に於いては破壊力の強大なものが勝利した けれども……

来たるべきもの

汝を審判もの

父の家

31 33 34 34 35 39 40 41 42 44 45 46 48 49 50 52 54

日本農士学校長 折尾国義先生を鹿児島に
送るにあたり詠める歌 並びに反歌

その翌朝 思いたえずして詠める

あとがき

(8)号・巻頭言…燦然と日は輝いているのに 世界は昏昏こんこんと眠っている……

人間精神

安岡正篤氏より賜わりし・同氏への返し歌

編集後記

(9)号・巻頭言…われわれを辱かしめうるものが世にあるだろうか……

いのち(一)

書翰

信

いのち(二)

編集後記

(10)号・巻頭言…われわれがものを書くにあたって関心をもつべきものは……

帝冠

聖女

旅の宿に詠める

神の宮

(11)号・巻頭言…人間の生命に根ざさない架空の法は……

55 56 57 58 63 64 65 66 68 69 70 72 73 74 76 79 80 81

凱歌	82
老僕	84
黎明	87
編集後記	88
12号・巻頭のことば……今日さる人を訪なうた……	89
悲涙	90
神の善	92
粥煮田峠並びに反歌 かえしうた	95
立法者	96
13号・異邦 ことぐれ の客	97
ある夕暮	98
よろこび	99
狼の小屋	100
メシアの王国	102
白きみち（詠草）	104
14号・牧場のたより	105
東方の光	106
友を招く歌	109

天に嘆きあり	110
アブラハムの懷裡 やところ	111
一燈錢申し合わせのこと	112
(15号) 巻頭(智恵礼讃)……人間の不幸の最たるものは智恵なきことである……	113
五反百姓	114
友	117
春のおとずれ	118
あとがき	120
(16号) まきはじめの言葉……行為の償いが得られないからとて……	121
新世紀の歌	122
リングと語る	126
よもぎもち(詠草)	128
一燈錢申し合わせ	128
(17号) 巻頭言……現代日本に於いて 吾人が至大なる関心をもつべきものは……	129
人間精神の開花	130
天使のひとみ	132
信濃路	134
信濃路にて(詠草) 同人抄・安岡正篤・川崎愔仁・大沢雄一	135

俵編みの歌（十首）

18号・まきはじめの言葉…物質の貧困は憂うるに足りない…

W 大学H教授に（書翰）

同人抄（詠草） 大雅・イト子・栗原美能留

シオンの女

19号・まきはじめの言葉…かつて物を盗んだことのある人を…

川鳴り

婚禮

餐宴

同人抄…高井鉦三・新関良三・野川幸一・栗原美能留

あとがき

20号・黎明が来たのだ…

詩人のことば（一）

詩人のことば（二）

あけぼのの歌（詠草）

たたかい・巨人

あとがき（病中詠草）

21号・まきはじめのことば…アメリカとソ連のはげしい嵐にはさまれて…

161 160 159 158 156 154 153 152 151 150 148 146 145 144 143 138 137 136

ある夜の会話

人妻の手記

お便りの中から……高井鉦三・下地キヨ

22号・まきはじめ……われわれは自分の考えを表現するのに……

詩人の訣別

ミス人類

カンランの薫

あとがき たてごと読者会案内（講演会並びに映写の夕）

23号・まきはじめ……ここに歓喜の熔鉱炉あり……

現代人は素朴と純真に欠落している

私の知人

友に寄する

たてごと読者会案内

あとがき

24号・まきはじめ……ぼくは ぼくの尊敬にあたいしない人たちが……

ダグラス・マッカーサーに与う

T夫人・たてごと読者会案内

192 186 185 184 183 182 179 178 177 176 174 172 170 169 168 164 162

図号・まきはじめ……事があると人間のいつわらざる姿が見える……	193
ウマバシさん……	194
わが苦悩……	198
共産党の井上さんへの公開状……	200
たてごと第一巻の編集をおわるにあたって……	201

堅立琴

(一)

一九四七年（昭二二）三月二十九日
一九四七年（昭二二）三月三十日

印刷
発行

発刊の辞

信ずる世界

それは証拠を求めぬ世界である

否 証拠以上のもの

証拠よりもっと確なるものを

その人格に認める世界である

信ずる世界に自由がある

平和がある

そして生甲斐がある

人生の幸福は

この信から生まれ来たることを知る

見よ

信ずるものは

やがてまたおのれが信じられているという

ゆゆしい事実を知るであらう

信ずるところは素直で

清く

明るい

来たるべき世界

今後 われらによつて樹てられるべき世界は

この信ずる世界であらう

蓋し

この世界は人間をあらゆる不幸から解き放ち

限りないよろこびと

自由を約束する世界であるからである

信ずるところによってのみ

われらは

われら人間をこの世に遺わし

宇宙を創造したまうたところの

生命の根源 至高者にまみえることができるであらう

自己が単なる偶然の所生でなく

業の流転にもてあそばれるものでもなく

極めて明瞭なる意志によって

祝福されている一大事実を知るであらう

見よ

信ずるものは

温かき愛の懷裡にあつて

永遠の生命に輝く自己を発見しうるであらう

私のこのささやかなる書翰
親愛なる友に贈るこのメッセー
ジが
かくの如き世界の進歩形成に
何らかの使命を果たしうるなら
ば
まことに幸甚の限りである

凱歌起るを見たり

わが靈

我を畜財の道にゆかしめず

名声の巷に立たしめず

われを駆って

決然 死に走らしめんとす

靈よ

汝は神の僕なるか

將^{マサ} 又

来たらんとする代の君なるか

汝はわれをして世に背かしめ

みずから進みて十字架を負わしめんとす

見よ

無智と貪欲の獄を破り

地の民をことごとく解き放たんとする戦

神のみ約束を地に果たさんとする

英邁なる任務に燃える生命よ

自由の旗 はためき

歓喜のラッパ鳴るところ

平安あり

栄光あり

ペリシテのゴリアテを撃ちし^(註)ダビデの霊

汝の裡に住みたるか

我 死に赴かんとする汝の内に

すでに勝利の凱歌 起るを見たり

ああ 自由のくに パラダイスよ

汝ついに世に來たらんとするなるか